

SPODフォーラム2016参加者の皆様へ

このたびは、SPODフォーラム2016へご来場いただき誠にありがとうございました。おかげさまで、無事に全プログラムを実施することができました。

今回は、全国から3日間で合計503名（延べ1,469名）の方にご参加いただきました。ご来場いただいた皆様へスタッフ一同心より御礼申し上げます。本フォーラムで持ち帰っていただいた知識やスキルが、皆様の職場内で抱える課題解決のヒントとなることを願っております。

さて、昨年に引き続き今年のフォーラムでは、ポスターセッションを実施いたしました。会場はたくさんの方でにぎわい、発表者と熱心に議論されている様子が印象的でした。参加者同士の交流の場として有効にご活用いただけたのではないのでしょうか。また、本フォーラムをきっかけに生まれた交流が、今後皆様がFD／SDを実践される際のネットワークとしてつながっていくことを期待しております。

今後もSPODでは、皆様に御協力いただいたアンケート等を参考とし、次年度以降のフォーラムやプログラム開発に活かして参ります。

来年のフォーラムは徳島開催を予定しております。次回もまた皆様にお会いできることを楽しみにしております。

SPODフォーラム2016事業実施責任者、SPOD企画・実施統括者

小林 直人(愛媛大学 学長特別補佐, 教育・学生支援機構教育企画室長・教授)

SPODフォーラム2016スタッフ一同

SPODフォーラム2016

フォトアルバム



2401A「地域特性論-地域課題の抽出と住民による解決に向けての合意形成づくり-」



2401B「大学の危機管理
-事例から考えるハラスメント-」



2401C「大学職員の基礎力を考える」



2401D「大学組織を理解する」



2401E「大学における障害学生支援とは？
-障害者差別解消法と合理的配慮-」



2401F「アイスブレイクの技法」



2402A「理工系講義形式授業において学生の学習を促進する授業デザイン」



2402B「始めよう、仕事の整理と協働」



2402C「経験から学ぶ力を育てる」



2402D「反転授業をやってみよう」



2402E「教育・学修支援を担う図書館員の能力開発-求められる知識・スキルを再考する-」



2402F「質問を変えると授業が変わる？！！」



2403A「知財リスク対応の基礎知識並びに知財人材育成の授業デザイン」



2403C「クリティカルシンキングを促す課題設定をしよう」



2403D「ルーブリック評価入門-考える、つくる、活用する-」



2403E「大人数講義法の基本」



2403F「経験学習入門」



2501A「研究指導入門-卒論作成を支援する-」



2501B「学生対応の心得・入門編-職員として気がかりな学生とどう向き合うか-」



2501C「日常の経験知で仮説を立て、学内にあるデータを検証する-データを活用した予防的・開発的學生支援をはじめてみませんか?-」



2501D「部下を育てる評価のコツ-自己理解と他者理解を踏まえて-」



2501E「海外派遣入門」



2501F「コーチング入門」



2502A「グラフィック・シラバスを書こう！」



2502B「思考プロセスの「見える化」と共有
ー話し合いの生産性を高めようー」



2502C「始めよう！アクティブ・ラーニング
ー協同学習・文章作成の技法編ー」



2502E「トップライダーセミナー
大学ガバナンスとリーダーシップ」



2502F「ディープラーニングに誘う
アクティブ・ラーニングの手法
ー物理、化学の実践例よりー」



2601A「視覚障害学生支援の基礎
ーテキストデータ化の体験ー」



2601B「研究支援職員としての基礎知識
ーゼロから始める研究者との協働ー」



2601C「教育データ解釈入門Ⅰ&Ⅱ」



2601D「ループリク評価入門ー考える、
つくる、活用するー」



2601E「管理職・監督職のための
リーダーシップセミナー」



2601F「学生の学びやすさと学習意欲を
高める授業設計ー課題分析図の活用ー」



2602A「聴覚障害学生の主体性を引き出す
支援ーパソコンノートテイクの体験を
とおしてー」



2602B「ラウンドテーブル
これからのSDを考える」



2602D「ラウンドテーブル
学生の経験を学びに変える」



ポスターセッション



ポスターセッション表彰式

シンポジウム「経験を学びに変える教育と能力開発」



上：シンポジストによる講演の様子



上：パネルディスカッションの様子



ご来場いただきありがとうございました